

科目名		空間装飾実習			
担当教員		渡部 和久		実務授業の有無	○
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		<p>今まで学習してきたインテリア計画の考え方、デザインテクニックなどの集大成としての個人作品の制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマにもとづいたイメージの考え方と作成の手順を説明する。 2. 条件と規制に則した設計の進め方の再認識させる。 3. 説明→課題演習→チェック→フィードバックを繰り返すことで作品精度を上げる。 4. 最終的にオリジナルプランを作成し、プレゼンを行う。 			
学習目標 (到達目標)		卒業制作となるインテリア模型課題の制作、オリジナル照明制作を通じ、テーマに沿ったインテリアデザインについて学ぶ。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①プリント等			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	卒業制作について ①卒業制作の進め方について (卒業生の作品を見ながらイメージをまとめる) ②卒業制作のスケジュールを立てる			方法：各工程ごとに進捗と精度の確認をする。プレゼン発表までは個別作業が中心のため、各課題項目ごとのスケジュール管理は常時行う。 準備学習：教科書、配布プリント	
2	プレゼンボード制作 ①インテリアエレメントの選定 ②3Dパース制作 ③プレゼンボード制作 (PBDを使用)			方法：各工程ごとに進捗と精度の確認をする。プレゼン発表までは個別作業が中心のため、各課題項目ごとのスケジュール管理は常時行う。 準備学習：教科書、配布プリント	
3	インテリア模型制作 ①建築模型の基本の作り方を学ぶ ②エレメントの素材感を、模型で表現する手法を学ぶ			方法：各工程ごとに進捗と精度の確認をする。プレゼン発表までは個別作業が中心のため、各課題項目ごとのスケジュール管理は常時行う。 準備学習：教科書、配布プリント	
4	課題発表 ①建築模型の基本の作り方 ②エレメントの素材感を、模型で表現する手法			方法：各工程ごとに進捗と精度の確認をする。プレゼン発表までは個別作業が中心のため、各課題項目ごとのスケジュール管理は常時行う。 準備学習：教科書、配布プリント	
5	インテリア照明制作 ①オリジナルデザイン照明器具作成			方法：課題の説明、解説を行い、進捗と精度の確認をする。個別作業が中心のため、各課題項目ごとのスケジュールやクオリティの管理は常時行う。	
6	完成スケッチの作成			家具の三面図のように図面を引き、縮尺も考え図面化していく。	
7	材料加工などの制作開始			スケッチ図を基に製作していく。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題			インテリア模型ではデザインセンスや表現力を重視し、2年間の集大成として、しっかりと取り組ませる。	
10 %	90 %	%	%	テーマや、コンセプトについては必ず、担当教務との話し合いで確定させ、情報密度を上げて精度を高める。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				個人作業になるため、進捗管理と個人指導等、スケジュール管理に留意する。 課題の評価はプレゼンを聴いた人たちの評価も加味する。	
実務経験教員の経歴		1級建築士として、建築現場監督業務に約10年携わる。			